

書影	書名	編著者名	判型	頁	定価	刊行月	ISBN
	明治三十年代 漱石・露伴・その他 文学の制度化と日露戦争	関谷博 著	A5	416	5280	3	9784877374792
		明治三十年代における戦争、戦争と密接に関わるところの〈国民〉の想像を革新的な問題として取り組んだ漱石・露伴の仕事の意味を中心に考える					
	上代文学史を学ぶ	梶川信行 著	4/6	240	2200	3	9784877374808
		文学史を再構築する試み古事記 日本書紀 万葉集 懐風藻 風土記… 15日で学ぶ 新たな上代文学の世界					
	水浜電車の客	日高昭二 著	4/6	488	4950	4	9784877374815
		大洗と水戸とを結ぶ電車に水浜電車というのがあった。水戸の高校に通うことになってはじめて乗った乗り物で、その乗客になってわたしは、教科書以外の文庫本や雑誌を読む自分を見出すことになった。					
	女性表象とフェミニズム 日本近現代女性文学を読む	岩淵宏子 著	A5	552	4950	7	9784877374839
		女性たちは何を書いてきたのか 階級、ジェンダー、セクシュアリティなどの視座から、女性文学の多様な側面に切り込む。フェミニズム批評の実践。					
	虚構の文色／劇のありか 近代日本の小説と演劇をめぐって	宮内淳子 著	A5	284	3960	8	9784877374822
		泉鏡花、宮澤賢治、坂口安吾、太宰治などの作品をそれぞれ夢、香り、異界、はなしといったキーワードから読み、後半では新劇の展開を、岸田國士、田中千禾夫、矢代静一、井上ひさしなどの戯曲や岡本かの子の小説などから迎ってみる。					
	文学と内なる権力 日本近代文学の諸相	矢本浩司 著	A5	384	4620	10	9784877374853
		文学は権力と主体の関係（主体化＝権力化）をどのように描いてきたのか。夏目漱石、森鷗外、伊藤左千夫、横光利一、坂口安吾、中野重治、遠藤周作らの文学を縦横に論じて、文学と権力の本質に迫る。「中本たか子小伝」を付す。					
	現代女性文学論	新・フェミニズム批評の会 編	A5	288	3960	12	9784877374860
		“生きづらさ”と向き合う「現代女性文学」を読み解く 特異な着想や作風で“生きづらさ”の根源と向き合い、周縁に追いやられた人々の声を聞き続ける「女性作家」たち。その作品世界から、〈いま〉を生き抜く道を探る。					
	論集 上代文学の明日を拓く	去来草の会 編	A5	280	4950	12	9784877374877
		梶川信行／工藤浩／鈴木雅裕／山崎健太／影山尚之／鈴木崇大／大浦誠士／野口恵子／藏中しのぶ					